派　遣　報　告　書（報告者；井　上　聖　也）

大会名	平成２４年度南九州四県対抗バスケットボール大会
開催地	熊本県熊本市、大津町、益城町
日　時	平成２４年４月２７日　～　４月２９日
担当ｹﾞｰﾑ	（高校男子予選リーグ）　れいめい　ｖｓ　熊本工業
相手審判	副審：　三　木　大　助　（鹿児島県）

ミーティング内容（主任：小　迫）

　プレゼンテーションをもっとはっきりして、選手観客に伝える必要性が合った。１試合を通しての基準というものがぶれた感じがして、ゲームがいまいち締まらなかった。その結果か終盤で、タイムアウト後のフリースローをスローインにしてしまいそうになってしまい、時間が切れるときの最後の状態、次の再開方法を確認をする必要を感じた。後方からの手の使い方をもう少し考えて上げる必要があった。

担当ｹﾞｰﾑ	（高校男子予選リーグ）　れいめい　ｖｓ　大分舞鶴
相手審判	副審：　小　川　隆　三　（宮崎県）

ミーティング内容（主任：安　田）

　立ち上がりからゲームが一方的になっていったが、やはり特に優勢な方のチームのまずい手の使い方、それと劣勢なチームに対しても、これ以上やってはいけないということを、もう少し線引きをすべきであった。

今大会に参加しての感想など

　これからメインの大会を迎える高校生にとって、ベンチも選手もそこまでの緊張感をもたずに試合をしているという感じではあったが、もしこれが本番であったらと思ったら危なくなる場面は多々あった。そのようななかでもゲームのコントロール、基準の一貫性、ＴＯの管理、相手審判との協力の仕方をプレカンファレンスでしっかり行うことが必要だと思った。判定しきれずにそのままにしてしまったり、ふと気を抜いたところからミスが出でだしたので、これからメンタルな部分での修正もしていきたい。

派　遣　報　告　書（報告者；井　上　聖　也）

大会名	平成２４年度南九州四県対抗バスケットボール大会
開催地	熊本県熊本市、大津町、益城町
日　時	平成２４年４月２７日　～　４月２９日
担当ｹﾞｰﾑ	（高校男子３位リーグ）　鹿児島工業　ｖｓ　東海大星翔
相手審判	副審：　坂　元　（鹿児島県）
ミーティング内容（主任：吉　本）	
最終的に１点差のゲームとなり、１ゲーム通して緊張感を持ちながら吹くことが出来た。相手審判が緊張していたので、協力しながら進めていった。試合中にリードが見るエリア、トレールが見るエリアを話し合いながら進めた。その結果大きくぶれることはなかった。特にベンチ前でのいろいろな判定に対して、即座にペネトレートしすぐに指し示す行動はいい印象を与えた。しかし、トレールからの上空でのショットの際の手をもう少し見てあげて良かった。	
担当ｹﾞｰﾑ	（男女　　回戦）　　ｖｓ
相手審判	主審・副審：　　（　　県）
ミーティング内容（主任：　　）	
今大会に参加しての感想など	